

会 議 録

会 議 名	第 25 回米原市男女共同参画審議会
開 催 日 時	令和 7 年 1 月 29 日（水）午前 10 時～11 時 15 分
開 催 場 所	米原市役所 本庁舎 4 階 会議室 4 A
出席者および欠席者	出席者：小沢修司委員(会長)、渡部優委員（副会長）、塚田多佳子委員、谷本政信委員、堤辰也委員、時田智史委員、西村正子委員、膽吹照子委員、岸根千代美委員 欠席者：中村真理委員 米原市：筒井総務部長、澤課長補佐、谷川主幹、堀主任 市男女共同参画センター：山田所長、中村事務員
議 題	【審議事項】 ・女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等の答申（案）について
資 料	当日配布資料 ・座席表 ・米原市人権センター S・C だより（1、2 月号） 事前配布資料 ・次第 ・資料 1：米原市男女共同参画審議会委員名簿 ・資料 2：米原市男女共同参画審議会規則 ・資料 3：女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等の答申（案）について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	○これまでの意見を踏まえ、最終的な答申をまとめ、2 月または 3 月に会長から市長へ答申を行うこととなった。
審 議 経 過	議題について事務局から説明を行った後、各委員から意見等をいただいた。意見は別記のとおりである。
会議の公開・非公開の別	■公開 傍聴者：なし
会議録の開示・非開示の別	■開示 □一部開示（根拠法令等： ） □非 開 示（根拠法令等： ）
全部記録の有無	会議の全部記録 ■有 □無 録音テープ記録 □有 ■無
担 当 課	総務部 人権政策課（内線 4263）

【第 25 回審議会 会議録】

（１）女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等の答申（案）について

資料３「女性の社会参画や政治参画推進に向けた方策と取組等の答申（案）について」に関して事務局から説明を行った後、各委員から御意見をいただいた。（詳細説明略）

委員

情報発信や啓発を、これまで実施していると思いますが、ライフスタイルの変化や SNS の発展などにより、情報の取り方も様々になってきています。そのため、同じ方法で情報発信をしても情報が届かないといったことが起きているので、「情報発信の仕方の工夫」などの文言を文面に入れ、意識を向けていく必要があるのではないかと思います。

会長

確かに、情報発信の仕方の工夫は、非常に大事だと思います。反映したいと思いますが、どの項目に反映すれば良いでしょうか。答申（案）４の、政治参画への関心や理解の向上か、または２の、地域等の環境整備になるのでしょうか。項目は後ほど考えることとし、情報発信の仕方の工夫を追記することに、みなさん反対がなければ入れたいと思います。他にいかがですか。

委員

一つ教えていただきたいのですが、１ページ目の「直近の議会選挙で」のところを修正いただいたその後ろ「多様な考え方が市政に反映され、民主的な理論の場の創出となっているとはいいい難い状況にあります」とありますが、この民主的な理論の場の創出とは、どういった意味合いになるのでしょうか。

会長

これは、議論の場ですね。議論の場なら分かります。

事務局

はい、議論の場です。修正いたします。

会長

他、いかがでしょうか。先ほどの意見の情報発信の仕方については、項目２の周囲の「理解増進を図るための地域等の環境整備」での働きかけとして、「情報発信の仕方の工夫」を、文言は事務局等に任せて追記していきたいと思います。

確認ですが、項目４と５のところ、４の政治等への関心や理解の向上ということで、そのためにどのような取組みをするのかなのですが、政治が暮らしに近い存在であることを実感してもらえるように、市民と議会等が対話や交流をする機会を創出して、市民に理解していただくとともに、足元の自治会等での女性役員の登用等の促進を支援するというたてつけになっていることと、

また、人材育成ですが、市民活動団体の育成による人材の発掘、それから各種活動団体等との連携によるネットワークづくりを通じて、市政への参画機会を創出する、そのための人材育成講座や政治入門塾等の開催など、政治等への関心と理解を深める取組を行うといったたてつけになっていると思います。意見交換会や、これまでの議論にもありましたが、なでしこネット登録者には、様々な審議会への参加をお願いしていますし、また、ルッチまちづくり大学などの活用といった意見もありました。つまり、新しく作るというよりも既にあるものを、どういう形で活用していくかも大事ですが、それを答申に盛り込むかどうか、答申を市長にお渡しする際、手交式はあるのでしょうか。

事務局

はい、予定をしています。

会長

その際に、この答申の前文に、例えばルッチまちづくり大学の活用や、なでしこネット登録者の意見交換会・交流会の実施など、少し踏み込んだ話も加えさせていただければ良いかなと思います。答申の中に入れた方が良ければ文面は考えますが、市長への答申の前文で、私がそれを読み上げてお願いする形でも良いのかなと思います。その辺り、どうすれば良いか御意見がありましたらお願いします。

それから、項目4の人材育成講座と政治入門塾の開催は、かなり具体的な提案になっているわけですが、新しい場の創出となり入っていて相応しいと思いますが、皆さんこれについても御意見いただけるとありがたいです。

委員

具体的にどのような講座などがあるのかイメージを教えてくださいたいです。

事務局

今、事務局で案として考えているのは、年間3回ぐらいの講座開催の予定で、まず第1段階では、なでしこネットの皆さん等の交流会等を開催し、男女共同参画の基礎的なお話や、皆さんが日頃感じておられることなどを、女性市議会議員さんを交えての意見交換等ができれば良いかなと思っています。最初から政治の話は、とっつきにくい部分があるかと思うので、先ず基礎的なところから始め、段階をふみながら政治などについて話を聞いたりできる機会を設け、男女共同参画の気運を高めていけるよう、講演会等を開催できたらと思っています。

会長

なでしこネットの登録者の方々の交流会や、人材育成講座などの開催は良いと思いますが、開催に当たっては登録者だけでなく、なでしこネットに関心を持っていただくことにもなるかもしれませんので、広く市民にも広報してほしいと思います。

また、市民が政治に関心を持ち、議会が身近な存在であることを意見するに当たって、書かれている人材育成講座や政治入門塾、なでしこネットの活用は、ぜひやっていただく必要があると

と思いますが、例えば、特に女性の方が政治に関心を持っていただく機会として、女性の議会を開催することはいかがでしょうか。これも、文言を答申に入れるかどうか、人材育成講座や政治入門塾等となっているため、この「等」に含まれるということで、先ほどと同じくルッチまちづくり大学やなでしこネットの活用も含めて、市長に答申する際に、前文で付け加えて私が話をさせていただいても良いのかなと思います。その辺り、答申に盛り込んでいくか、話に付け加える形で良いなど、御意見がありましたらお願いします。

委員

具体的な取組を入れた方が私は良いと思います。女性議会というのは模擬議会でしょうか。

会長

はい、そうです。

委員

やはり、そういった具体的な取組を入れる方が分かると思いますので、入れた方が良いと思います。

会長

そうすると、この文章の場合、人材育成講座や政治入門塾、女性模擬議会等を開催という形で入れることになるかと思いますが、そういう御意見でよろしいでしょうか。

委員

はい、それで結構です。

会長

他に御意見はありますか。

委員

女性模擬議会というものを知らないのですが、実際に行うと、こういった方が参加され、こういった人数規模になるのでしょうか。

会長

市民の方から女性議員を募り、実際に議場で質問する形になりますが、事前に市に質問関連の資料を準備いただくなど、市にも協力をいただかないといけないと思います。1人30分くらいの発言や質問で、現在の議員さんが行うような質問をし、それに対して市長を初め、副市長や執行部等が答弁をするというものです。議会がどのようなものかを知っていただく機会にはなるかと思っています。

委員

子どもの模擬議会も県で行われていますし、身近なところで自分たちの意見が言えるような体制を作っていくのは大事だと思います。

会長

子ども模擬議会は多くのところで実施されていますが、全く一緒の仕組みです。このような意見が出ていますが、事務局はいかがでしょうか。

事務局

事務局としては、先ずは政治などに関心を持っていただくことを重きに置いており、人材育成のための講座や政治入門塾を開催し、皆さんに男女共同参画や政治等について関心を持ってもらい、機運を高めていただけたらと思っています。早い段階で女性模擬議会を開催しても、参加いただける方があまりおられないかもしれないといった懸念もあり、講座などを実施した後、次のステップとして女性模擬議会等ができればと思い、答申案の文面には入れずに、先ほどの「等」の中に含めると考えました。しかし、この審議会の中で、入れた方が良いということであれば、修正をさせていただこうと思います。

会長

実施に当たっては、書かれてるからと言って一気に言うということではなく、今、事務局から考えを述べていただいたように、段階を踏んで実施していくことが非常に重要です。徐々に政治や議会が身近な存在であることを市民の方々に理解していただくような取組を進めていくことが項目4のところでは重要だと思いますので、進め方を考えていただければ良いかと思います。

委員

模擬議会に参加いただける方を広報いただくと良いと思います。女性の模擬議会で、今の議会と同じような形を経験して市の色々なことに対して質問し、答えていただく場を経験するのは良いと思います。米原市にはなでしこネットもあり、色んなことを知ってくださる上で、答申が市長に伝われば良いと思っています。具体的な取組としての、政治入門塾や女性模擬議会などは分かりやすく理解していただけます。やはり分かりやすい答申である方が良いため女性模擬議会を入れることは大事かなと思いました。

会長

ありがとうございます。段階をふみながら色々な機会を作っていくことは必要で、項目の4で言えば、市民活動団体育成で、市民活動団体の活動として市長や議員と語る機会にも発展すると良いのかなと思います。

委員

市民活動団体の活動で、市長と語る会や議員と語る会を行った経験で申し上げると、どちらも

事前に皆さんから質問や意見を募り、まとめたものを提出していました。それに対しての答えを用意いただき、当日は市長や関係課長なども来てくださっていました。議員の方も同様に、自分たちの意見を聞いてもらえる機会はとてもありがたいことでしたし、身近なところで交流を持てるのは、とても良いことだったと思います。

会長

内閣府から地方の政治分野における男女共同参画のための取組の事例紹介があり、各自治体の様々な取組の事例紹介として長野県南箕輪村での女性模擬議会が YouTube で配信されています。関心のある方は見ていただければ良いと思いますし、政治が身近なものだと分かっていただけの取組の一つになると思います。

そして、ルッチまちづくり大学ですが、これは女性の政治参画や社会参画を目的にしたものではありませんが、まちづくりを活性化するという事で、可能であれば、市民が市政や議会・政治に関心を持てるようなプログラムなども作っていただけると良いかなと思います。しかし、ルッチまちづくり大学の主体的な取組のため、外部から色々と言えないと思いますので、行政等で連携を図り、そういった視点も取り入れていただける働きかけを強めていただけると良いのかなと思っています。

事務局

ルッチまちづくり大学は、特色ある地域づくりや協働のまちづくりを進めるための地域の担い手を育てることを目的に開催されています。地域の魅力の発見や、まちづくり等について各グループでテーマを決めて学ばれ、地域に還元できる人材の育成を主としています。学ぶ意欲や何かしたい思いが皆さんそれぞれあって入学されていますので、政治等にも関心を向けていただけるような働きかけや、連携によるネットワークづくり、人材育成の情報共有等はできるかと思います。

会長

ルッチまちづくり大学でも、それぞれの考え方があるため、答申の中に大学のプログラム等を盛り込むことは難しいと思いますが、まちづくりを理念目的に掲げられているので、市民が政治に関心を持てるよう、ルッチまちづくり大学等も活用いただけたらということも市長にお伝えしていこうと思います。他に御意見等いかがでしょうか。

委員

女性模擬議会と子ども模擬議会の話を聞いていましたが、女性模擬議会は、開催しても人が集まるのかなという話が出た時に、親子議会にしてはどうかと思いました。子どもがどうやって社会参加していくかを考えながら子育てしているのですが、親子で社会参加していく機会があまりないと感じるため、親子一緒にあれば参加できる人も出てくるのかなと思いました。SNS などで情報発信した時にも柔らかさが出ますし、少しでも暮らしと政治が繋がっているといったイメージが湧きやすいのかなと、一つの案として思いました。

会長

柔らかさは出ると思いますが、親子に限定すると対象が狭まる可能性があるため、親子で議員として質問されるのも可能とし、全体としては親子に絞らない方が良いでしょうと思います。開催の仕方等は考えていけたら良いと思いますが、米原市では子ども議会は開催されていますか。

委員

議会事務局の事業として以前開催されました。例えばですが、市の男女共同参画センターの事業として取り組んでくださるのも面白いのではと思います。色々な意見も聞けるとと思いますので、男女共同参画センターの方で取り組めるよう、前向きに検討をお願いします。

男女共同参画センター所長

先ほどの女性だけでなく子どもも一緒にといった意見は、和やかな雰囲気にもなるので良いなと思いました。今ほど委員さんからお話いただいた件につきましては、場所的な問題や設備的な問題もありますので、事務局等とも相談・検討しながら前向きにということよろしいでしょうか。

委員

はい、ありがとうございます。

会長

様々な機会を設けて盛り上げていくことは非常に大事です。この審議会も、最近では市役所で開催をしていますが、以前は人権総合センターでも開催したことがありました。その際、私は人権総合センターへのアクセスに少し不便を感じましたが、市民の方にとっては大丈夫なのでしょう。

男女共同参画センター所長

おっしゃるとおり、最寄りの駅からも徒歩で30分以上かかり、乗り合いタクシーも事前予約が必要であったりし、アクセスは良くないです。車がないと不便なところであるため、様々なPRを考えながら行ってはいますが、ネックになっているのが実情です。

会長

しかし、人権総合センターを知ってもらう機会にもなり、様々な取組みをされていくと、情報も広がっていく機会にもなりますので、その一環として女性の模擬議会の開催等も入れていただけるのも良いなと思います。

委員

子育て世代同志が個々にグループで悩みなどを話したりはしていますが、その声を市に届けることができにくいので、様々な年代の人が集まる自治会での催しなどで話せたら良いと思いますが、地域のイベントが中心となっており、なかなか困りごとなどを話したりする機会がありません。

ん。話したいことはたくさんあるけれど、子育て世代は、なかなか外へ出ていけない現状があるため、意見が出しやすい場、出て行きやすい場、話せる機会といった環境を先ず整えていただければ良いと思います。それによって参画への意識を若い世代も持つことができていくのではないかと思います。

委員

今は、リモートで家にいながら仕事ができ、遠く離れた所から情報機器を使って介護ができる情報の時代だと思います。反面、コミュニケーションが取れにくくなるため、どうかと思ったりもしますが、時代の流れなので上手く利用していくことが必要だと思います。

会長

そうですね。前回、議会でも市民に議会の状況を発信しておられることを紹介いただきましたが、議会でどのようなことが行われているのかという情報を市民が知ることは、なかなか少ないと思います。議会でも認識され色々と実施されていると思いますが、議会での情報発信の仕方です。答申（案）には、議会が市民にとって身近な存在であることが実感できるよう行政と連携を図り、継続した情報発信の強化に努めてくださいと加えているところです。市民が議会等に参画しやすい環境づくりを進めること、まさにこれだと思います。

委員

以前、鳥取県智頭町のまちづくりで「100人委員会」の視察に参加したことがあります。誰でも良いので100人を集め、10人程度のグループにそれぞれファシリテーターを置き、市民の声を吸い上げるといった町の取組みで、とても良いと思いました。議会の受け皿の広がりとして、そのようなやり方もどうかと思いました。ファシリテーターとして議員の方に入ってもらい、グループで議員さんとたくさん話せる機会になるのも面白いと思いました。

会長

ありがとうございます。それは、先ほどのルッチまちづくり大学を通じて市民に市政や行政政治が身近な存在であるということを理解してもらうことに共通すると思います。100人委員会という形で、一人ひとりが思いを伝えるより小グループで議論をし、まとめた形を市に伝えていくといった機会だと思います。また、その機会を市側が設けるとなると、市民からの一方方向でなく、市民の声を反映する市の姿勢が問われることにもなるため、しっかりとした仕組みで市民の声を伝えていく場をつくることも大事だと思います。それが進めば、女性の政治参画や社会参画への関心が高まっていくとも思います。答申案の文言に盛り込むことは少し違うかなという気もするので、それは、4項目中の「政治等への関心や理解の向上と理解を深める取組」として、市民の声を聞く機会を広げ、多様な場を設けることとしていけたら良いかなと思います。

他、いかがですか。それでは、意見をまとめ、答申案に盛り込まない部分は私から市長に答申をお渡しする際に伝える扱いとさせていただきたいと思います。まとめたものについては、皆さんに予めお示しした上で、答申をさせていただくことでよろしいですか。答申はいつ頃の予定でしょうか。

事務局

2 月下旬または 3 月の予定ですが、議会の関係もあるため、会長と市長の日程調整をさせていただいた上で、調整がつき次第実施させていただこうと思います。

会長

分かりました、ありがとうございます。それでは、終了とさせていただきます。

《終了》